

トマト半製品の輸入

◆2020年

〔全国〕輸入数量が過去最高！

〔管内〕輸入数量・金額ともに対前年伸び率20%超！

～新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要で輸入増加！～

～健康効果が期待できる食材としても注目！～



トマト半製品（トマト調製品）とは…？

- ホールトマトやカットトマト
- トマトケチャップやトマトジュース等の原材料となるトマトピューレやトマトペースト

などを言い、輸入統計品目番号で「20.02」に分類されるものを指します。



トマト調製品の輸入は、1988年以降順調に増加しており、2020年には、全国の輸入数量が過去最高を更新し、名古屋税関管内においても数量・金額とも対前年伸び率が20%を超える高水準となりました。

こうした輸入増加の背景として、業界によると

- 2015年に「機能性表示食品」制度^{※2}が始まったことをきっかけに、トマトジュースに機能性表示がされるようになり、健康維持を目的としたトマトジュースの需要が大幅に増加したこと
- 2020年には、近年のトマトジュースの需要増加に加え、新型コロナウイルスの影響により、外食機会の減少による業務用需要が減少したものの、巣ごもりによるトマトケチャップやホールトマト等の需要が増加した結果、全体として例年以上に需要が高まったこと

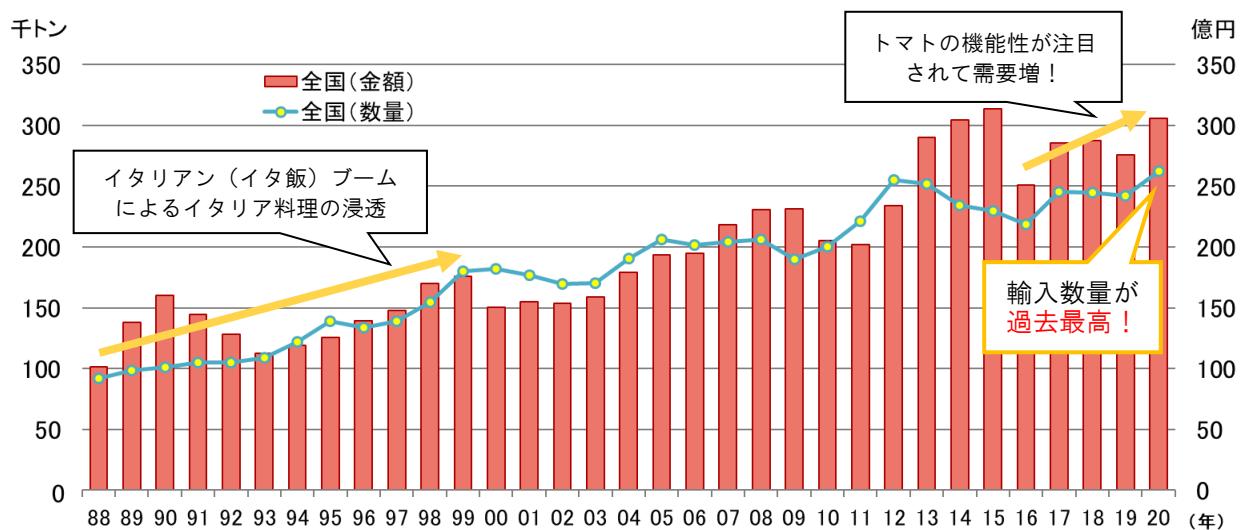
などが考えられるとのことでした。

近年において、輸入数量が顕著に伸びている「トマト調製品」について、輸入データを分析し、特集しましたのでご紹介します。

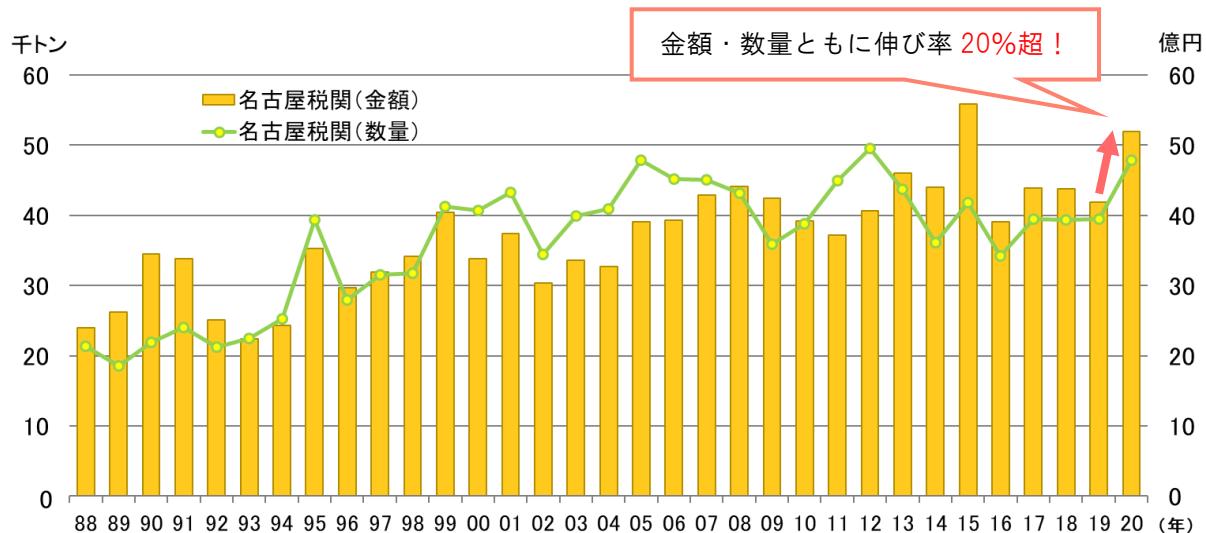
※2 機能性表示食品とは…事業者の責任で、科学的根拠を基に商品パッケージに機能性を表示するものとして、消費者庁に届け出られた食品のことを言います。（高めの血圧を下げる、善玉コレステロールを増やす等の特定の保健の目的が期待できるという食品の機能性を表示できる食品のこと。）



〔全国におけるトマト調製品の輸入年別推移〕



〔名古屋税関管内におけるトマト調製品の輸入年別推移〕



輸入推移をみると、全国及び名古屋税関管内ともに、1988年以降順調に増加しています。

2020年における全国の輸入実績は、

数量 26万25百トン（伸び率 8.3%） 金額 305億80百万円（伸び率 11.0%）

となり、数量については、2012年の25万49百トンを超えて、過去最高となりました。

また、2020年における管内の輸入実績は、

数量 4万79百トン（伸び率 21.4%） 金額 51億92百万円（伸び率 24.1%）

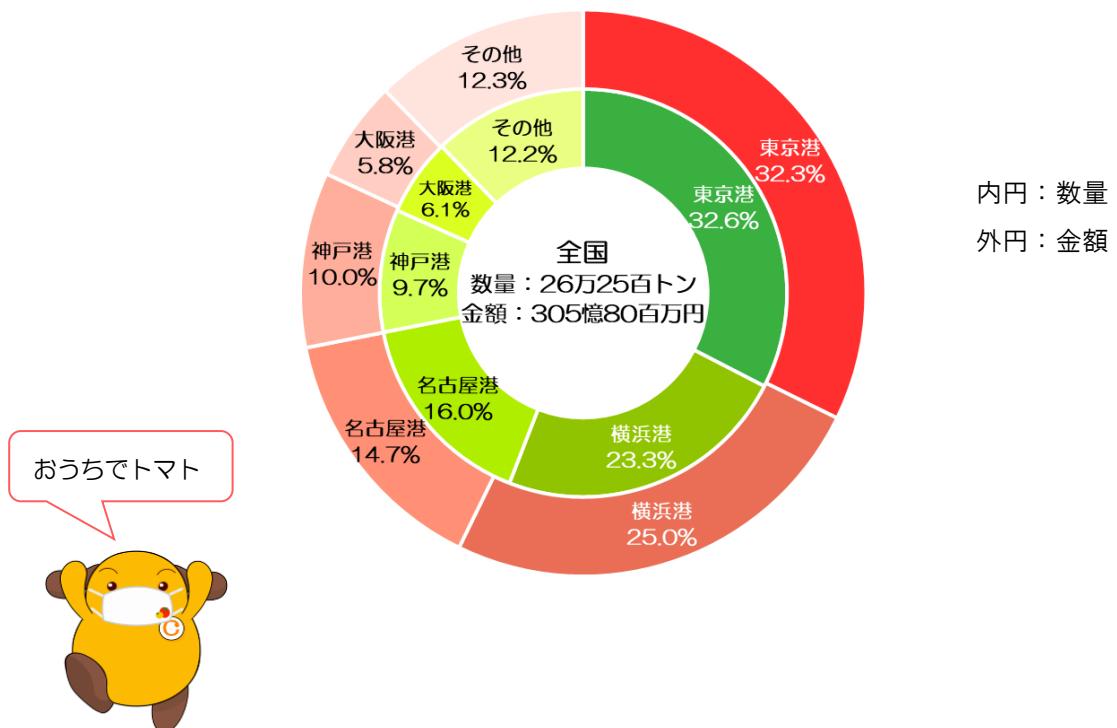
となり、数量・金額ともに高水準となりました。

特に、全国においては、30年前である1990年と比較して、数量が2.6倍、金額が1.9倍と数量・金額ともに順調に伸びていることがわかります。

こうした背景として1988年頃から1990年代に、イタリアンブーム（イタ飯）でイタリア料理が浸透し、カジュアルなイタリアンレストランが増加したことや、健康ブームに伴い、トマトの栄養について注目されたことなどが挙げられます。



[2020年 トマト調製品の港別輸入構成比]



★トマトの栄養素

ビタミンC

美肌効果・風邪予防

ビタミンE

老化抑制（抗酸化作用）

カリウム

塩分の排出を助ける

食物繊維

腸内環境を整える

リコピン

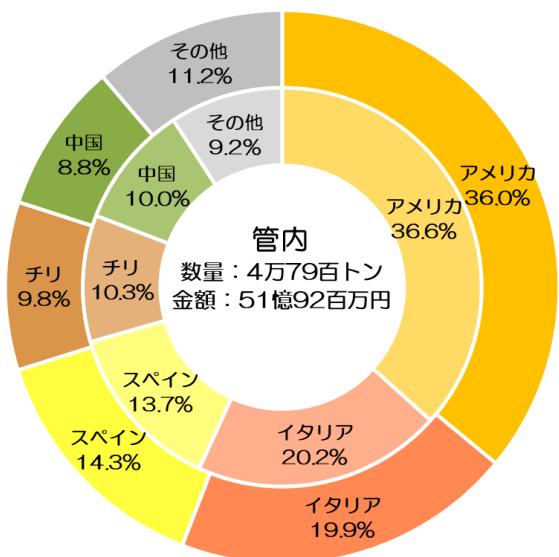
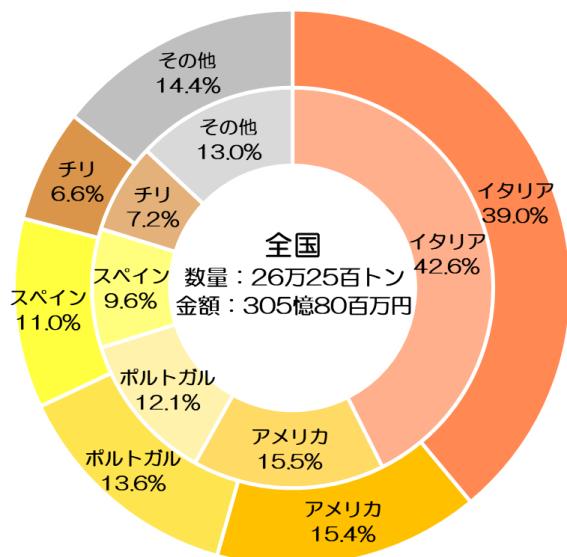
老化抑制（抗酸化作用）



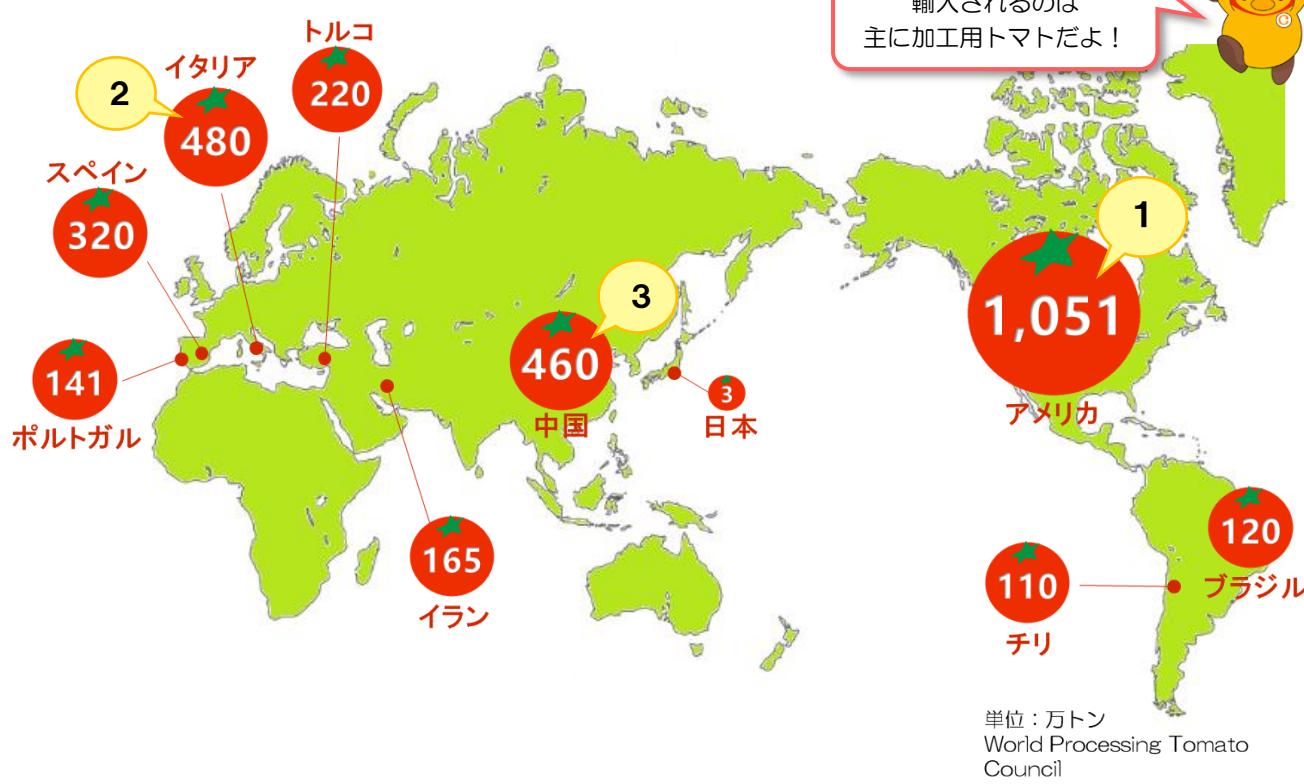
トマトは低カロリーで、さまざまな栄養が含まれる健康野菜です。この中でも、注目されているのは、色素成分「カロテノイド」の一種であるリコピンです。トマトの「赤」は、リコピンの赤なのです。カロテノイドには、酸素による細胞の酸化を防ぐ抗酸化作用があり、老化や動脈硬化などの生活習慣病の予防効果が期待できると言われています。リコピンは、この抗酸化作用が強力で、ビタミンEの100倍以上にもなると言われています。



〔2020年 トマト調製品の国別輸入構成比〕



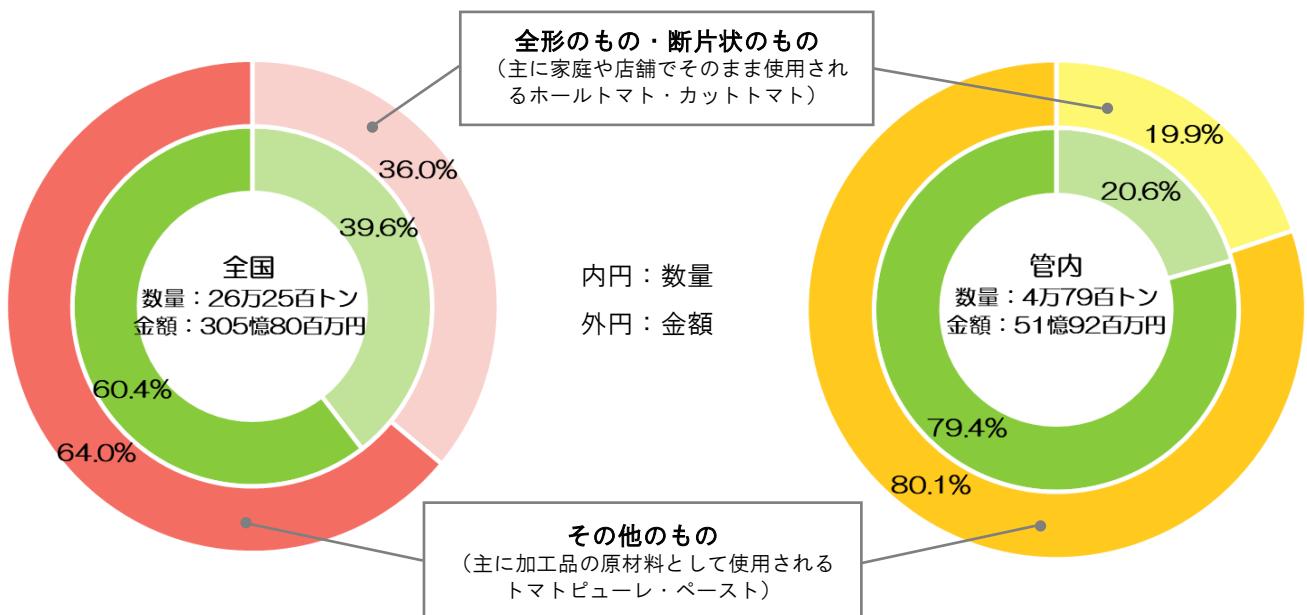
〔参考 2019年 世界における加工用トマトの生産量〕



2020年における国別構成比をみると、全国・管内どちらにおいても、アメリカ、イタリアが全体の約6割を占めています。世界における加工用トマトの生産量統計においても、アメリカが1位、イタリアが2位となっており、加工用トマトの生産量の多い国が上位を占めていることがわかります。



[2020年 トマト調製品の形状別輸入比率]



トマト調製品の輸入比率を、

○全形のもの・断片状のもの [統計品目番号：2002.10 主にホールトマト・カットトマト]

○その他のもの [統計品目番号：2002.90 主にトマトピューレ・トマトペースト]

に分けて、輸入構成比をみると、全国に比べて管内の“その他のもの（主にトマトピューレやトマトペースト）”の割合が多く、約8割を占めています。この理由として、管内に大手メーカーの加工工場があり、輸送コストの関係から工場付近の港を利用して輸入していることが挙げられます。

終わりに…



食卓に彩りを与えてくれる“トマト”。

トマトは、栄養が豊富で、生活習慣病などの予防効果が期待できるとして注目されています。業界の見通しとしては、従来からの健康ブームに加え、コロナ禍に伴う健康意識の高まりから、トマト関連商品の需要は手堅く、トマト調製品の輸入は順調に推移することが考えられることでした。

家庭で調理する機会が増えている今、トマトを使った様々な料理を楽しんでみてはいかがでしょうか。

- ・輸入統計品目番号「20.02」とは、調製し又は保存に適する処理をしたトマト（食酢又は酢酸により調整し又は保存に適する処理をしたものは除く。）を指します。
- ・本資料における「名古屋税関管内」とは、名古屋税関が管轄する愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県をいいます。
- ・本資料における「過去最高」とは、統計として比較可能な1988年以降の実績を比較したものをいいます。
- ・本資料の輸入数量及び金額について、2019年以前は確定値、2020年の11月以前は確報値、12月は輸入9桁速報値です。



★トマトの生産量

トマトは世界の様々な国で栽培されており、世界の野菜生産量ランキングによると、第1位となっています。私たちが料理でよく使う玉ねぎと比べると約2倍の生産量です。

2019年 世界の野菜生産量ランキング

順位	品目	生産量(万トン)
1位	トマト	18,077
2位	スイカ	10,041
3位	タマネギ	9,997
4位	きゅうり	8,781
5位	キャベツ	7,015

FAO統計データベース「FAOSTAT」

★生食用トマトと加工用トマト

トマトは、生食用と加工用に大きく分けられます。生食用トマトは、ピンク系トマトと呼ばれ、皮が薄く食べやすいということで、日本で人気のトマトです。一方で、加工用トマトは、赤系トマトと呼ばれ、皮が厚く真っ赤な色をしていることが特徴です。日本で生産されているトマトの多くは、ピンク系トマトですが、世界の主流は、赤系トマトとなっています。

最近は、日本市場にも変化があり、イタリアンブームで、トマトを使った料理が食べられるようになったこと、栄養価が高いことから、日本でも赤色系トマトを目にするようになっています。

生食用トマトと加工用トマトの違い

	生食用トマト	加工用トマト
栽培方法	ビニールハウスで、支柱で茎を支え、上へ伸びるように育てる。	支柱を使わずに日光を浴びせるように地面を這わせて育てる。
収穫時期	一年中	夏
輸送	長距離輸送できるように、完熟前に収穫して運ぶ。	完熟時に収穫し、缶や瓶などで密閉状態にして運ぶ。
色	ピンク系トマト	赤系トマト
皮の固さ	薄くて果肉が柔らかい	厚くて果肉が固い

トマト料理を食べよう！



カゴメ(株) 提供

リコピン3~5倍!! カゴメ(株) 提供



〔統計資料〕

【全国】輸入推移

年月	数量(KG)	金額(千円)	
		前年比	前年比
1988	91,732,990	41.3%	10,120,143
1989	98,327,792	107.2%	13,792,925
1990	101,297,578	103.0%	16,033,852
1991	105,018,044	103.7%	14,429,225
1992	104,889,620	99.9%	12,815,432
1993	108,687,702	103.6%	11,230,545
1994	121,642,004	111.9%	11,922,595
1995	138,733,748	114.1%	12,532,132
1996	133,914,712	96.5%	13,937,651
1997	138,975,888	103.8%	14,791,014
1998	154,698,015	111.3%	16,978,651
1999	180,151,994	116.5%	17,561,980
2000	181,974,689	101.0%	15,046,930
2001	176,741,926	97.1%	15,506,329
2002	169,533,708	95.9%	15,388,355
2003	170,510,384	100.6%	15,870,838
2004	190,799,799	111.9%	17,905,649
2005	206,471,843	108.2%	19,334,605
2006	201,667,534	97.7%	19,459,495
2007	204,130,753	101.2%	21,794,917
2008	206,365,364	101.1%	23,044,686
2009	189,639,895	91.9%	23,102,035
2010	200,445,966	105.7%	20,486,680
2011	221,262,586	110.4%	20,210,789
2012	254,949,921	115.2%	23,402,972
2013	251,920,416	98.8%	29,005,675
2014	234,505,326	93.1%	30,433,543
2015	229,785,360	98.0%	31,326,190
2016	218,585,492	95.1%	25,074,014
2017	245,577,465	112.3%	28,541,444
2018	244,526,951	99.6%	28,725,165
2019	242,327,716	99.1%	27,557,655
2020	262,458,253	108.3%	30,580,267

【管内】輸入推移

年月	数量(KG)	金額(千円)	
		前年比	前年比
1988	21,356,855	91.3%	2,399,129
1989	18,600,994	87.1%	2,623,733
1990	21,898,752	117.7%	3,449,956
1991	24,068,793	109.9%	3,377,220
1992	21,246,186	88.3%	2,510,298
1993	22,501,439	105.9%	2,243,957
1994	25,219,216	112.1%	2,434,991
1995	39,372,067	156.1%	3,523,801
1996	27,978,508	71.1%	2,972,155
1997	31,509,926	112.6%	3,191,182
1998	31,713,468	100.6%	3,411,982
1999	41,204,636	129.9%	4,039,046
2000	40,706,916	98.8%	3,385,968
2001	43,229,063	106.2%	3,737,325
2002	34,396,291	79.6%	3,035,512
2003	39,886,899	116.0%	3,359,377
2004	40,941,718	102.6%	3,265,391
2005	47,898,890	117.0%	3,904,674
2006	45,138,850	94.2%	3,928,570
2007	45,109,630	99.9%	4,290,354
2008	43,133,301	95.6%	4,407,320
2009	35,836,961	83.1%	4,241,926
2010	38,809,704	108.3%	3,916,698
2011	44,906,989	115.7%	3,720,849
2012	49,485,680	110.2%	4,058,922
2013	43,747,302	88.4%	4,597,382
2014	36,147,798	82.6%	4,402,853
2015	41,854,569	115.8%	5,591,334
2016	34,243,715	81.8%	3,904,546
2017	39,520,154	115.4%	4,390,285
2018	39,405,737	99.7%	4,374,991
2019	39,428,574	100.1%	4,183,610
2020	47,864,720	121.4%	5,191,596

年	月	数量(KG)	金額(千円)	
			前年比	前年比
2020	1	21,996,738	113.6%	2,520,135
	2	19,853,614	96.3%	2,262,279
	3	20,314,519	101.2%	2,296,749
	4	28,744,311	115.9%	3,154,801
	5	22,055,522	106.2%	2,627,784
	6	30,794,236	138.1%	3,544,478
	7	22,736,104	84.7%	2,660,741
	8	20,100,580	88.6%	2,339,428
	9	20,283,614	119.9%	2,510,353
	10	18,568,209	124.8%	2,235,794
	11	17,680,015	110.2%	2,067,515
	12	19,330,791	113.5%	2,360,210

年	月	数量(KG)	金額(千円)	
			前年比	前年比
2020	1	4,146,619	120.3%	441,005
	2	4,015,976	123.9%	421,452
	3	1,750,206	61.7%	179,317
	4	5,898,940	150.4%	603,453
	5	5,366,574	131.2%	629,273
	6	6,100,470	156.7%	648,377
	7	4,868,138	87.1%	539,703
	8	3,908,614	101.4%	426,580
	9	2,359,550	102.6%	260,649
	10	2,279,627	113.4%	237,595
	11	3,560,456	175.9%	405,060
	12	3,609,550	162.3%	399,132

…過去最高



【全国】国別構成比(2020年)

国名	数量(KG)			金額(千円)		
		前年比	構成比		前年比	構成比
イタリア	111,826,952	108.7%	42.6%	11,916,811	115.9%	39.0%
アメリカ	40,616,181	106.9%	15.5%	4,710,603	108.1%	15.4%
ポルトガル	31,734,402	104.6%	12.1%	4,168,090	106.9%	13.6%
スペイン	25,209,131	119.2%	9.6%	3,372,284	114.5%	11.0%
チリ	19,018,266	132.3%	7.2%	2,011,130	134.4%	6.6%
中国	18,462,270	93.0%	7.0%	1,792,358	92.4%	5.9%
トルコ	7,706,082	107.2%	2.9%	1,258,021	99.0%	4.1%
ウクライナ	2,930,307	98.4%	1.1%	244,084	97.2%	0.8%
オーストラリア	1,287,624	54.4%	0.5%	336,247	76.4%	1.1%
ギリシャ	1,072,522	104.8%	0.4%	116,429	105.1%	0.4%
ニュージーランド	1,071,482	115.6%	0.4%	138,499	115.3%	0.5%
イスラエル	879,360	190.1%	0.3%	228,200	194.8%	0.7%
タイ	340,617	62.4%	0.1%	108,832	52.8%	0.4%
スイス	128,400	109.6%	0.0%	95,666	109.3%	0.3%
メキシコ	86,693	136.5%	0.0%	13,963	134.9%	0.0%
ブラジル	44,498	114.6%	0.0%	7,745	96.7%	0.0%
カナダ	14,860	全増	0.0%	2,758	全増	0.0%
フィリピン	12,321	204.9%	0.0%	3,533	226.5%	0.0%
イラン	9,920	344.4%	0.0%	1,047	260.4%	0.0%
フランス	3,823	72.7%	0.0%	50,258	642.8%	0.2%
ベトナム	1,302	77.8%	0.0%	2,536	95.4%	0.0%
ガーナ	840	全増	0.0%	233	全増	0.0%
オランダ	400	166.7%	0.0%	940	178.4%	0.0%
総計	262,458,253	108.3%	100.0%	30,580,267	111.0%	100.0%

【管内】国別構成比(2020年)

国名	数量(KG)			金額(千円)		
		前年比	構成比		前年比	構成比
アメリカ	17,541,784	120.6%	36.6%	1,867,886	118.8%	36.0%
イタリア	9,661,562	131.2%	20.2%	1,033,548	140.8%	19.9%
スペイン	6,574,263	108.3%	13.7%	740,801	110.5%	14.3%
チリ	4,915,972	180.3%	10.3%	509,696	181.5%	9.8%
中国	4,774,106	103.8%	10.0%	456,189	103.4%	8.8%
ポルトガル	2,794,709	133.0%	5.8%	350,058	130.1%	6.7%
ギリシャ	655,845	86.5%	1.4%	71,335	87.1%	1.4%
ウクライナ	518,904	51.4%	1.1%	45,924	52.1%	0.9%
イスラエル	336,010	487.0%	0.7%	102,286	446.5%	2.0%
トルコ	74,093	46.0%	0.2%	10,274	48.1%	0.2%
タイ	16,764	100.0%	0.0%	1,977	110.3%	0.0%
ベトナム	708	全増	0.0%	1,622	全増	0.0%
総計	47,864,720	121.4%	100.0%	5,191,596	124.1%	100.0%

※管内とは、名古屋税関が管轄する愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県を指します。

栄養満点なトマトを食べて、
健康になるワン！



港別構成比(2020年)

港	数量(KG)			金額(千円)		
		前年比	構成比		前年比	構成比
東京	85,443,371	99.2%	32.6%	9,870,982	101.3%	32.3%
横浜	61,277,714	102.8%	23.3%	7,630,805	105.1%	25.0%
名古屋	42,014,067	119.1%	16.0%	4,484,805	121.1%	14.7%
神戸	25,545,366	106.4%	9.7%	3,061,690	105.1%	10.0%
大阪	16,112,478	99.0%	6.1%	1,761,679	105.6%	5.8%
川崎	10,498,460	231.3%	4.0%	1,292,065	261.0%	4.2%
博多	7,537,770	131.6%	2.9%	734,475	139.2%	2.4%
清水	5,795,213	141.3%	2.2%	702,354	148.0%	2.3%
苫小牧	1,622,948	97.4%	0.6%	183,214	100.9%	0.6%
仙台塩釜	1,387,842	116.3%	0.5%	162,384	122.6%	0.5%
新潟	1,081,320	174.7%	0.4%	143,883	238.4%	0.5%
志布志	1,071,440	1603.5%	0.4%	135,244	1991.5%	0.4%
千葉	620,770	255.0%	0.2%	63,249	118.3%	0.2%
沖縄地区	404,088	110.7%	0.2%	43,028	114.1%	0.1%
広島	391,588	75.4%	0.1%	42,348	77.7%	0.1%
和歌山	347,898	112.7%	0.1%	30,941	112.0%	0.1%
門司	335,999	67.2%	0.1%	29,261	65.8%	0.1%
石狩	158,180	50.4%	0.1%	12,108	53.2%	0.0%
小名浜	157,568	36.4%	0.1%	14,354	36.0%	0.0%
長崎	116,424	140.0%	0.0%	29,921	133.6%	0.1%
直江津	108,576	612.9%	0.0%	19,929	1157.3%	0.1%
福山	91,100	6001.3%	0.0%	11,406	1069.0%	0.0%
成田	58,570	72.4%	0.0%	82,368	166.6%	0.3%
四日市	55,440	102.5%	0.0%	4,437	95.3%	0.0%
つくば	53,252	97.5%	0.0%	6,435	102.1%	0.0%
八戸	37,621	107.8%	0.0%	4,171	116.5%	0.0%
川内	37,497	48.1%	0.0%	3,968	49.8%	0.0%
小樽	19,845	全増	0.0%	1,719	全増	0.0%
伏木	19,692	全増	0.0%	1,795	全増	0.0%
尾道糸崎	17,760	全増	0.0%	1,979	全増	0.0%
札幌	17,760	全増	0.0%	1,500	全増	0.0%
羽田	9,163	1422.8%	0.0%	7,178	2688.4%	0.0%
千歳	7,633	118.7%	0.0%	3,110	126.4%	0.0%
関西空港	3,840	24.0%	0.0%	1,482	40.9%	0.0%
総計	262,458,253	108.3%	100.0%	30,580,267	111.0%	100.0%

※本資料を引用する場合、名古屋税関の資料による旨を注記して下さい。

※本資料に関するお問い合わせは、名古屋税関 調査部 調査統計課 (TEL052-654-4176)
までお願いします。

また、貿易統計は名古屋税関 HP でもご覧いただけます。

《 <http://www.customs.go.jp/nagoya/> 》

取材協力

カゴメ株式会社

一般社団法人 全国トマト工業会

